

# ミヤマホソコウガイゼキショウ

*Juncus kamtschatscensis* (Buchen.) Kudo

イグサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

## 選定理由

石川県内にもともと稀産する植物であるが、生育環境の高山(白山)の湿地、水辺は近年減少しつつあって、絶滅の危険が増大している。(現況:RO)

## 形態

茎は高さ10~20cm。上部の茎葉は2~3個、圧偏された円筒状で、葉耳は大型。基部の茎葉は鱗片状。最下苞は花序より普通短い。頭花は通常2個、それぞれ3~6花からなり、花被片は同長で約3mm。内花被片は鈍頭、外花被片は鋭頭で濃褐色。果実は蒴果、三稜状長楕円形で長さ5mm、黒褐色、先端は鈍い。

## 国内分布

本州中部以北~北海道。国外では、千島列島、カムチャッカに分布。

## 県内分布

白山高地区。

## 生態など

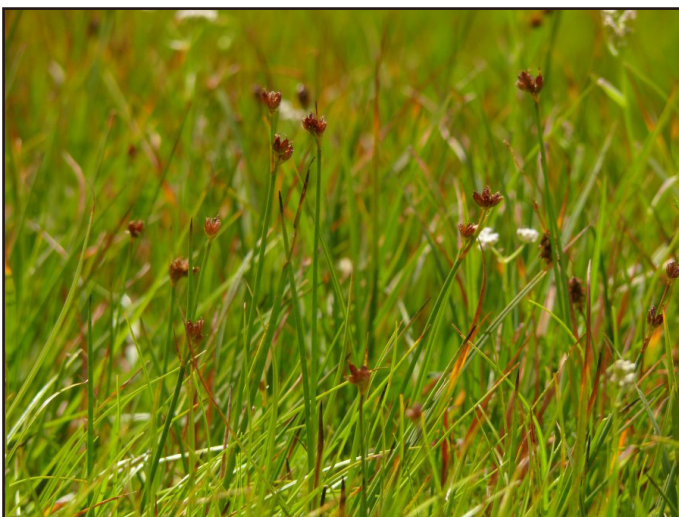
花期は7~9月。

## 生育環境

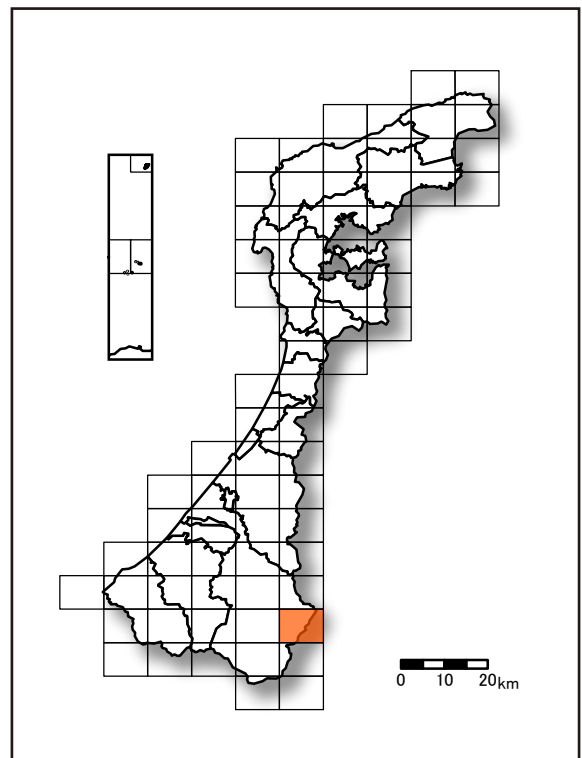
高山の湿地。

## 危険要因

自然遷移、産地局限。



白井伸和・2007年8月16日・白山



県内の分布